

美容絹石けんでカンボジアに貢献！

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社イル・ヴリール(東京都新宿区、加藤和則代表取締役)が提案する「絹石けん生産を通じた養蚕及び加工技術移転のための案件化調査」(カンボジア国)を採択しました。

カンボジアでは都市部の飛躍的発展の一方、地方との格差はますます拡大しており、農村人口の約20%が貧困ライン以下の生活を送っています。同国の農村部においては伝統的に養蚕が盛んに行われていましたが、1970年代からの内戦の影響で農村部の養蚕業が衰退したことで、都市部と地方との格差がさらに広がり、農村部の営農の改善及び多様化及び生活水準の向上が課題となっていました。

提案企業は、絹に含まれる紫外線予防に有効な成分セリシンを用いた美容石けんを加工する技術を有しており、日本及びカンボジアで販売しています。この美容絹石けんの加工技術を同国の農村部に移転することで、シルク布以外に現地繭を用いた付加価値の製品の生産が可能となり、現地の産業育成支援と貧困農民の生計向上が期待されます。



本調査では養蚕及び加工の技術移転の可能性を検討し、地域住民の所得及び生活水準の向上にむけた調査を実施します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 小井塚(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp